

県外派遣報告書

審判員名	若林 哲	所属	U15(中体連)
大会名	第49回全国中学校バスケットボール大会		
期間	令和元年8月22日(木)～8月25日(日)		
会場	ホテルアバローム紀の国 ビッグホエール ビッグウェーブ 和歌山県立体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月22日(木)	審判会議、研修会	ホテルアバローム紀の国	
8月23日(金)	予選リーグ	ビッグホエール ビッグウェーブ 和歌山県立体育館	
8月24日(土)	決勝トーナメント	ビッグホエール ビッグウェーブ	
8月25日(日)	準決勝 決勝	ビッグホエール	
会議 講義 内容			
<p>大会開催に先立ってJBA審判委員長の宇田川貴生氏よりお話があった。今年度より、全国中学校大会でも予選リーグから3POで実施する。正しいメカニクスを理解し、正しい判定を積み重ね、スムーズにゲームを運営して欲しいとお話があった。またNBA選手、1億円プレイヤーの誕生などにより、バスケットボールへの興味関心が高まっている。インテグリティやRFGなどの視点からも、ゲームの価値を高めるような取り組みをしてもらいたいとお話があった。</p> <p>研修会では主に、①映像研修、②3POメカニクスとプレイコーリングガイドライン、③処置ミスゼロにつながるIOTとTOとの連携、④インテグリティと審判、という4つのテーマで話があった。特に印象に残った研修は③である。トラブルがあつてからの対応ではなく、トラブルを未然に防ぐために常にクロックやファウルの数に気を配ること。特にクロックについてはマジックタイムなどに備えて、攻守の切り替えやスローインの際にタイムを声に出して確認するなどの対策を講じたほうが良いとお話があった。</p>			
実技			
担当試合	期 日	8月23日(金)	男子 女子 予選リーグ
	対戦カード	久米(愛媛) VS 浜松開誠館(静岡)	U1
	相手審判	CC:比嘉涼太氏(沖縄) U2:鈴木俊久氏(和歌山)	
ミーティング内容		主任	浅野祐樹氏(大阪、S級)
<p>延長戦になり、非常にいいゲームだったと思う。最終的には力通りの結果になった。声を使ってリードする姿勢などはとても良かった。今後吟味していく必要があるのは、プライマリーエリアを超えて判定する必要性についてである。それが確実に必要な「ヘルプ」なのか、単なるオーバーオフিশイーティングなのかを区別する必要がある。エリア外のレフェリーが笛を入れることが違和感を生むリスクがあることも知っておくべきである。トレイルが少し高くなることがあるので、ロートレイルを意識した方が良い。</p>			

担当試合	期 日	8月23日(金)	男子 女子	予選リーグ	
	対戦カード	西福岡(福岡)	VS	新潟柳都(新潟)	U1
	相手審判	CC: 浅野祐樹氏(大阪) U2: 堀内謙氏(和歌山)			

ミーティング内容 主任 浅野祐樹氏(大阪、S級) 自己反省

ゲームを通して「グッドノーコール」が多い試合だった。お互いが正当にシリンダー内でプレーすることが多かったため、余計な笛を入れる必要がない。笛が少ないとレフェリーのメンタルとしては不安定になりがちだが、メンタルを保つ工夫も必要である。NFからUFへグレードアップしたケースがあったが、セカンドオピニオンを持ち、クレーをヘルプすることも大切である。今回はC2での適応だったが、考えとしては「今後同じようなケースが起きてもNFとして取り上げることができるか」という具体的な規準を持った方が決断しやすくなる。

担当試合	期 日	8月24日(土)	男子 女子	決勝トーナメント1回戦	
	対戦カード	横浜(高知)	VS	京都精華(京都)	U1
	相手審判	CC: 大下俊之氏(島根) U2: 堀内謙氏(和歌山)			

ミーティング内容 主任 山口成生氏(山口、A級)

メカニックもスムーズで、観客もベンチもゲームに集中できるような内容だった。大きな現象にもきちんと笛が入っていたので、レフェリーがゲームを掌握している印象がある。ブロックショットについて、パーティカルに跳んでいるケースも多かったため、判定については少し改善が必要である。

全体の感想

3年前の福井全中以来の派遣を頂きました。まずは心温まる受け入れをしてくださいました和歌山県協会の皆様、そして派遣して下さった埼玉県協会の皆様に感謝申し上げます。

今大会からJBA管轄の行事となり、派遣審判員の顔ぶれも大きく変わりました。研修会の中身も非常に濃く、とても新鮮な気持ちになりました。

全試合3POということで実施されましたが、メカニックで困るようなケースはあまりありませんでした。しかし必ず笛を入れなければいけないケースで鳴らせなかったり、目を当てるのが遅く、判定が遅れてしまうケースが少々ありました。A級の二次審査に臨むにあたって「Decisive(決断)」という要素は私にとって大きな課題です。今後も改善に努めていきたいと思っております。

今回の派遣で実感したことを日々の審判活動に反映していくこと、そしてライセンスアップすることをお約束して、今回の派遣報告とさせていただきます。ありがとうございました。